

第4章 公害苦情

1 概要

平成25年度の公害苦情受付件数は245件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が81件と最も多く、次いで悪臭、大気汚染、水質汚濁、振動の順となっています。(図4-1、図4-2)

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。

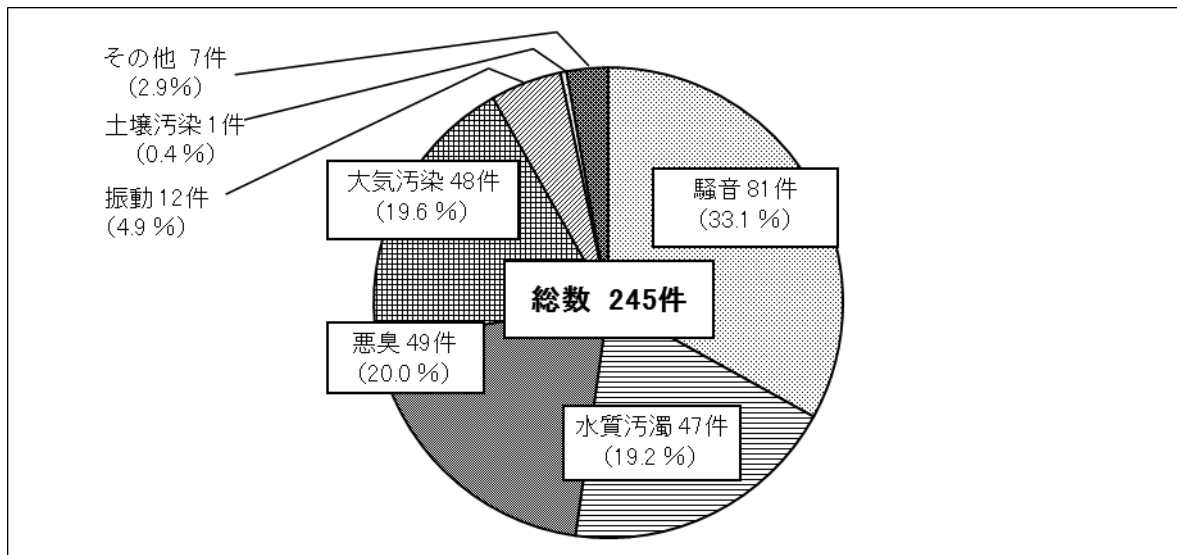


図 4-1 公害苦情の内訳

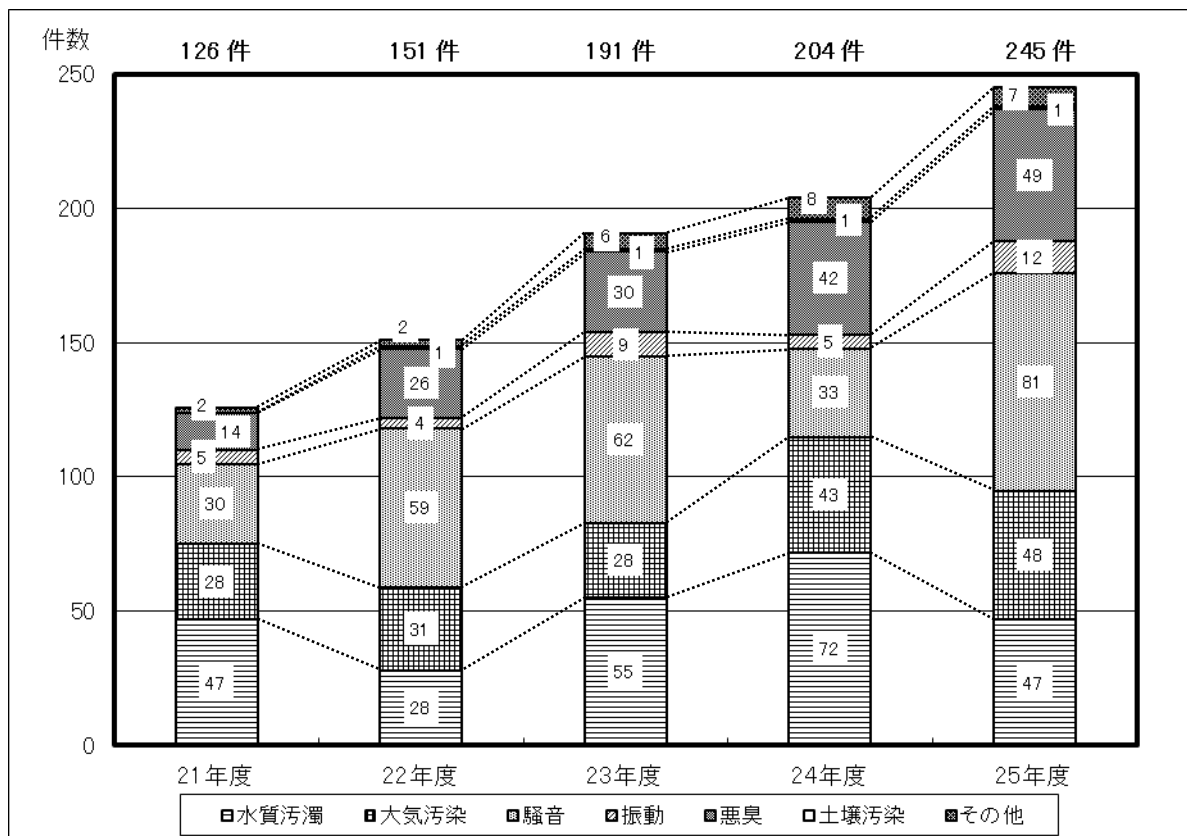


図 4-2 公害苦情件数の推移

(1)大気汚染

大気汚染に関する苦情は48件で、苦情全体に占める割合の約19.6%でした。

発生源の主な原因は、廃棄物の焼却によるものが23件(家庭生活13件・農作業9件・不明1件)と最も多く、次いで建設・解体作業に伴う粉じんによるものが12件、事業所からの排ガス・粉じんによるものが3件でした。廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課・各区役所のまちづくり推進課でも対応しています。

(2)騒音

騒音に関する苦情は81件で、苦情全体に占める割合は約33.1%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う騒音が38件と最も多く、次いで工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が17件、自動車走行などの移動発生源からの騒音が4件、拡声器による騒音が2件となっています。

(3)振動

振動に関する苦情は12件で、苦情全体に占める割合は約4.9%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が9件、工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が1件となっています。

(4)悪臭

悪臭に関する苦情は49件で、苦情全体に占める割合の約20.0%でした。

発生源の主な原因は、畜産・農作業などの農業に伴う臭いが12件、製造業、飲食店等の事業活動に伴う臭いが6件、廃棄物の焼却に伴う臭いが3件、建設工事に伴う悪臭が2件となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種は多い方から建設業、サービス業、卸売り・小売業・飲食店、製造業、農業の順になっています。

また、内訳の中で、不明が約31.4%と大きな割合を占めていますが、これは水質汚濁や大気汚染の発生源が特定できないケースが多いためです。(表4-1)

表4-1 公害苦情の発生源業種

業種	公害の種類	水質汚濁	大気汚染	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他	合計	
									件数	構成比(%)
農業		0	9	0	0	14	0	0	23	9.4
林業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
漁業・鉱業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
建設業		1	14	41	9	2	0	0	67	27.3
製造業		0	4	7	0	6	0	0	17	6.9
電気、ガス、熱供給・水道業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
運輸・通信業		0	0	1	0	0	0	0	1	0.4
不動産業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
卸売り・小売業・飲食店		1	0	8	0	1	0	0	10	4.1
サービス業		0	2	11	1	8	0	1	23	9.4
医療・福祉		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
学習支援・公務		0	0	1	0	0	0	0	1	0.4
家庭生活		0	13	4	0	4	0	0	21	8.6
その他		0	0	0	0	5	0	0	5	2.0
不明		45	6	8	2	9	1	6	77	31.4
計		47	48	81	12	49	1	7	245	100.0